○○○○年○○月○○日

別添４（Word）

**研究開発成果の事業化計画書  
*（共同提案の場合、事業者ごとに記述してください。）***

会社名 株式会社○○○○○○

１．実用化・事業化を行う製品・サービス等の概要

1. 内容

***研究開発の成果が、当該製品・サービスへどのように反映されるか記載してください。***

1. 用途（販売予定先）

***当該製品・サービスの想定される販売ルート、販売先等を記載してください。この販売先以外の分野等で利用できる場合は、それについても記載してください。また、自らが実用化・事業化するのではない場合には、どの様な形で製品・サービスが実用化されることを想定しているのかについて記載願います。ライセンスビジネスも構想している場合は、併せて記載下さい。***

２．実用化・事業化への取組み

1. 実用化・事業化に向けた計画等  
   ***委託期間終了後5年間（特に2026年度までは詳細に）の実用化・事業化を目指し実施する開発計画、投資計画、実用化・事業化能力等を記載願います。国内市場だけでなく、特に、海外市場の獲得に向けた計画も併せて記載してください。***

***また、ビジネスコンセプトと課題解決（どのようなコンセプトにより、誰の、どのような課題を解決しようとしているのか）、複数の課題解決の中で当該手段が優れている理由、ビジネスモデル（収益モデル、価格設定、事業のマイルストーン）、市場参入戦略（販売チャンネル、市場へ認知させる方法とその実現性）、想定している当該研究開発成果による商品、製品、サービス等の内容と性能・コスト等のスペック、その設定根拠、既存技術や競合技術による製品等に対する優位性、オープン＆クローズ戦略、競合技術等に勝つための戦略等についても併せて記載ください。***

***上記について、これまでの想定ユーザや適用先のヒアリング、客観的で確度の高いデータに基づき予測されている産業・社会ニーズに基づき、具体的なユースケースを可能な限り、多数含めて記載するとともに、想定する製品・サービスを生み出した場合、社会実装の可能性が高いことについて記載下さい。***

***また、提案する技術開発の内容以外で、自社負担で実施する実用化・事業化のために必要となる技術開発内容や、製品設計内容がある場合はそれらを具体的に記載し、どの様に達成するかについても併せて記載願います。***

***また、今後、研究開発中に平行して実施するユーザーとの意見交換・ニーズ把握の取組、ユーザーによる試作品の評価（利用サービスの提供を含む。）、特に、研究開発項目①における「システム技術開発」の開発テーマについては、研究開発成果を海外に広く展開する観点からの国外ユーザーとの意見交換や当該ユーザーによる評価の取組の計画について記載ください。***

***加えて、成果の早期実用化並びに産業応用の観点から、研究開発期間中に研究開発の内容から一部を切り出して、早期の製品化に取り組むことを検討している場合は、記載ください。***

1. 実用化・事業化を考えるに至った経緯（動機）

***実用化・事業化開発を目指した背景等について具体的に記載願います。  
〈事業者における研究計画、事業計画等に基づき、どの様な背景で研究開発に取り組み、実用化・事業化を目指すに至ったのか記載願います。〉***

1. 事業として成功すると考える理由

事業の新規性、独創性、他との競争力、実用化・事業化までに想定される課題とその解決方法、当該事業分野における商業活動の実績、商材の内容、これまでの売上規模など具体的に記載してください。当該事業分野における商業活動の実績が無い場合は、新規参入の方策（営業活動の計画、他社とのアライアンス含む）とその実現可能性について、より詳細に記載ください。

1. 実用化・事業化計画に対する申請者内におけるコミットメントの状況

***実用化・事業化計画について申請者内の販売部門、事業部の責任者等との現時点でのコミットメント状況について記載願います。***

1. 実用化・事業化のスケジュール

（１）「実用化・事業化に向けた計画等」で記述した内容を踏まえ、プロジェクト期間終了後５年間の想定される実用化・事業化計画を、生産・販売・市場獲得などの具体的な実用化・事業化の段階に区分し、実用化・事業化の各段階が明瞭となるよう線表、矢印、記号等を用いて記述してください。  
なお、プロジェクト実施期間中から実用化・事業化を開始する計画がある場合には、その年度から計画を記述してください。

実用化・事業化の各段階において、実用化・事業化の中断や延期など、実用化・事業化全体の計画変更を考慮する必要がある重大な障害を予想し、記述してください。

また、重大な障害が回避し得ない場合、どの時点で計画変更の判断を下すのかを、線表に記入してください。

生産・販売の一部又は全部を自社で行わない場合は、委託先の選定、協力体制等を具体的に記述してください。

***(記入例)***

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ***年度*** | ***2023年度*** | ***2024年度*** | ***2025年度*** | ***2026年度*** | ***2027年度*** |
| ***製品設計***  ***○○設計完了▲***  ***▲Tuki***  ***設備投資***  ***生産***  ***販売***  ***収益発生*** | ***▲○○億円***  ***▲Tuki***  ***▲サンプル出荷開始***  ***▲Tuki*** | ***▲○万台／月uki*** | ***▲生産開始***  ***▲Tuki***  ***▲○万台／月uki***  ***第２生産ライン立ち上げ▲***  ***▲Tuki***  ***◇続行/***  ***▲○万台／月uki*** | ***▲○○億円***  ***▲Tuki***  ***▲○万台／月uki***  ***中断を判断***  ***▲○万台／月uki*** |  |

***予想される重大な障害：***

***製品設計段階 ：～～～～～～***

***設備投資段階 ：～～～～～～***

***生産段階 ：～～～～～～***

***販売段階 ：～～～～～～***

　　（６）対象事業に係る知財、ノウハウ等の保有状況と今後の計画

想定事業において提案者の強みの基盤となる特許、ノウハウ、データ等の保有状況について説明ください。また、提案事業を通じて生み出す予定の特許、ノウハウ、データ等の内容について知財戦略、オープン＆クローズ戦略等を含めて、説明ください。

【基盤となる取得特許、ノウハウ等の保有状況】

（特許等知財の保有状況に係る説明表の例）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 特許等の名称 | 出願番号  （出願日、登録日等（公開、公告、登録のうち最新のもの）） | 特許等の内容 | 出願人 | 発明者 | 係争の  有無 |
| ○の装置  （特許取得済） | 特許第▲▲号  （登録日H▲．▲．▲） | ○○○○・・・ | ◇◇株式会社 | ○○太郎  ○○次郎 | 無し |
| △の方法  （審査請求中） | 特願××××－××××××  （H▲．▲．▲） | ○○○○・・・ | ◇◇株式会社 | ○○太郎 | 無し |

（ノウハウ、データ等、知財以外の保有状況に係る説明表の例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名称 | 内容 | 保有者 |
| ○○○○に係るデータ解析アルゴリズムと○○○○に係る実データの蓄積 | ○○○○・・・ | ○○○ |
| ○○の装置を用いた○○の製造技術ノウハウ | ○○○○・・・ | ○○○ |

【提案事業により生み出す主な取得特許、ノウハウ等】

（特許等知財の保有状況に係る説明表の例）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特許等の名称 | 出願内容（想定） | 出願人 | 発明者 |
| ○の装置  （特許取得済） | ○○○○・・・ | ○○○ | ○○○ |
| △の方法  （審査請求中） | ○○○○・・・ | ○○○ | ○○○ |

（ノウハウ、データ等知財以外の保有状況に係る説明表の例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名称 | 内容 | 保有者 |
| ○○○○に係るデータ解析アルゴリズムと○○○○に係る実データの蓄積 | ○○○○・・・ | ○○○ |
| ○○の装置を用いた○○の製造技術ノウハウ | ○○○○・・・ | ○○○ |

３．市場獲得規模（現状と将来見通し）

***・実用化を目指す製品・サービスに関する世界全体と国内、海外における申請者の売上高（百万円）と申請者シェアについて、現状と将来の想定を示し、その根拠を記述してください。***

***・記載に当たっては、別添4（Excel版）の【記載方法】をご参照頂いた上で、別添4（Excel版）と整合的な内容となっていること（以下に記載する売上高が別添4（Excel版）の売上高と一致していること　等）を必ず確認してください。***

***・別添4（Excel版）と同様に、原則として、2018～2019年度及び2023～2026年の各年度時点の売上高と申請者シェアについて、それぞれ記載してください。なお、もし研究開発が2020年度～2022年度中に終了する場合には、研究開発終了年度から2022年度時点の売上高と申請者シェアについても、記載してください。***

***申請者の売上高(世界／国内／海外)*** ***申請者シェア(世界／国内／海外)***

***2018年度　　○○○百万円／ ○○○百万円／○○○百万円　　○○％／○○％／○○％***

***2019年度　 ○○○百万円／ ○○○百万円／○○○百万円　　○○％／○○％／○○％***

***2023年度　　 ○○○百万円／ ○○○百万円／○○○百万円 　○○％／○○％／○○％***

***2024年度　　○○○百万円／ ○○○百万円／○○○百万円　　○○％／○○％／○○％***

***2025年度　　○○○百万円／ ○○○百万円／○○○百万円　　○○％／○○％／○○％***

***2026年度　　○○○百万円／ ○○○百万円／○○○百万円　　○○％／○○％／○○％***

***売上高算出の根拠：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～***

***シェア見通しの根拠：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～***

***費用対効果の指標の算出式と設定値：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～***

***※申請者シェアは、業界で一般的に利用されている市場調査レポートや提案者が把握している市場規模に基づき、申請者の売上高を市場規模で除して算出ください。また、海外の売上高については想定する平均的な為替レートを置いて算出の上、前提としたレートを記載ください。これら元となる前提条件についても併せて説明を記載下さい。***

***※システム技術開発の開発テーマについては、研究開発計画に定める研究開発費返還制度の対象になります。***

４．実用化・事業化の実施体制図

（１）国内外に有する研究開発拠点、製造拠点等

***・提案者が国内外に有する研究開発拠点及び本研究開発成果に係る主な製造拠点等（サービス・メンテナンス、営業拠点を含む）について、国内、国外で分けて記載ください。非常に多数存在する場合は国単位や県単位、拠点種別の単位で集約して記載することも可能です。***

【国内拠点】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 名称 | 所在地（都道府県、市町村） | 拠点開始の年 | 拠点の役割 |
| 1 | 〇〇研究所 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇に係る次世代技術の研究開発 |
| 2 | 〇〇工場 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇の製造 |
| 3 | 〇〇事業所 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇のアフターサービス、メンテナンス拠点 |
| 4 | 〇〇営業所 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇の営業拠点 |

【国外拠点】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 名称 | 所在地（都道府県、市町村） | 拠点開始の年 | 拠点の役割 |
| 1 | 〇〇研究所 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇に係る次世代技術の研究開発 |
| 2 | 〇〇工場 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇の製造 |
| 3 | 〇〇事業所 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇のアフターサービス、メンテナンス拠点 |
| 4 | 〇〇営業所 | 〇〇県〇〇市 | 〇〇〇〇年～ | 〇〇〇の営業拠点 |

（２）実用化・事業化の実施体制図

***・研究開発成果を海外に広く展開する観点から、国内及び海外（米国、欧州、アジア等）での実用化・事業化体制についても記載ください。事業化に当たり、提案者／提案者コンソーシアム以外の主体との連携関係がある場合は併せて記載ください。***

***・当該研究開発の成果による商品、製品、サービス等において想定するビジネスモデル、エコシステムが具体的に分かるよう、関係する事業主体やステークホルダー（例：デバイスメーカ、セットメーカ、システムメーカ、サービス事業者、ファイナンス機関等）の繋がりと各者の役割分担を含め、分かりやすくフローチャート形式等で図示して記載ください。***

***・また、それぞれの事業主体の収支を簡単に記載し、お金の流れを見える化し、実際にビジネスとして成り立つモデルなのかを記載ください。そのうち、特に提案者がどこでどのように儲けるつもりなのかがわかるように記載ください。***